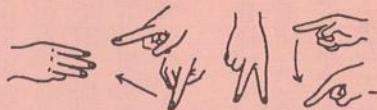


# みんなの広場



※上のイラストは、題字と同じ内容を指文字と手話で表したものです。

(題字は千葉理事長)



## 今年も良い出来です! ～「ジョバンニ」じいたけ念願の収穫～

やさわの園の支援センター「ジョバンニ」では、活動の一つとして、しいたけ栽培を長年行っています。

毎年、春に原木へ種菌を植え付け、当番が毎日欠かさずに散水を行ってきました。

植菌から約1年後、待ちに待った収穫の日を迎え、思わず笑顔もほころびます。

### 主な内 容

(ページ)

●副理事長就任あいさつ、基本理念・基本方針	2
●各施設から	3
・いわて子どもの森	
・みたけ学園児童デイサービスセンター「とれいん」	
・共同生活事業所ちふな「はとホーム」	
●[特別企画]	4、5
～新任施設長による座談会～	
●平成22年度決算報告	6、7
●新採用職員のご紹介	8

## 新副理事長兼事務局長就任ごあいさつ

# 常にお客様の立場に立つて

4月から、当事業団の副理事長兼事務局長に就任いたしました。

私は、県職員として34年間、主に社会福祉や保健行政に携わり、県退職後は、岩手県社会福祉協議会で、地域福祉の推進に当たってまいりました。

この間、事業団の皆様には、様々な場面でお世話になり、事業団は、常に時代の福祉課題に率先して取り組み、本県の新しい福祉の地平を拓いて来た、志とスキルの高い頼もしい集団だと感じています。

この度、事業団の一員として、共に仕事をさせて頂くこととなり、本当に嬉しく思っております。

当事業団は今、「自立経営の確立」に、役員一丸となって取り組んでいます。これは、より力強く私達の理想を実現し、世の中のお役に立つ存在として、発展・繁栄を続けていくためのものです。

副理事長兼事務局長  
藤原 健一

【前職】岩手県社会福祉協議会 専務理事・事務局長

事業団には、障がい者福祉の分野では、幼児期の療育から、障がい児、青壮年及び高齢の障がい者に至るまで、ライフステージに応じた幅広いサービスと人材が揃っています。更に、家庭的な困難等を抱えた児童の健全育成から成人の生活支援、全児童の健全育成まで、多彩なサービスと人材も抱えています。

この豊富なサービスのノウハウと人材、連携こそが、事業団の大きな強みであると思われます。

この強みを生かしながら、常に、①お客様の立場に立つて考え、喜びと感動を与える最高のサービスの提供、②イノベーションを恐れず、社会環境の変化に即応する事業への挑戦、③そのため「学習する組織」等を目指して、どのような時代がこようとも、社会に必要とされ発展する事業団でありたいと願っています。

事業団は、良質な福祉サービスの提供を通じて、人と社会を幸福にする団体です。千葉理事長の下、共に力を合わせ、事業団の事業を通じ、障がいのある人もない人も、互いに、人格と尊厳を認め合い、支え合ひ、その人らしく自立して共に生きる社会の実現に貢献していきたいと思います。皆様方の御支援、御協力をお願い申し上げます。

## 【基本理念】

私たち岩手県社会福祉事業団は、利用者の人間としての尊厳を尊重し、利用者本位の質の高いサービスを提供するとともに、その人らしい生き方ができる地域社会の実現に積極的に寄与します。

## 基本理念・基本方針

岩手県社会福祉事業団

\*新は、新たに新しく就任された理事・監事及び評議員です。

## 理事及び監事

理 事 長	副理事長兼事務局長
石 田 千 葉 弘	藤原 健一 (新)

理 事 長	副理事長兼事務局長
小田島 智弥 (新)	藤原 健一 (新)

理 事 長	副理事長兼事務局長
小田島 峰雄	菊池 敏夫

理 事 長	副理事長兼事務局長
千葉 寛子	菅原 貞子

理 事 長	副理事長兼事務局長
中野 信男	細田 重憲

理 事 長	副理事長兼事務局長
青山 良一郎	千葉 清夫

理 事 長	副理事長兼事務局長
佐々木 忍 (新)	佐藤 匡仁

理 事 長	副理事長兼事務局長
柴田 一美	高橋 修

理 事 長	副理事長兼事務局長
高橋 正紀	吉田 充

理 事 長	副理事長兼事務局長
佐藤 匡仁	吉田 由子

理 事 長	副理事長兼事務局長
佐藤 匡仁	吉田 博 (新)

理 事 長	副理事長兼事務局長
佐藤 匡仁	吉田 博 (新)

理 事 長	副理事長兼事務局長
佐藤 匡仁	吉田 博 (新)

理 事 長	副理事長兼事務局長
佐藤 匡仁	吉田 博 (新)

理 事 長	副理事長兼事務局長
佐藤 匡仁	吉田 博 (新)

理 事 長	副理事長兼事務局長
佐藤 匡仁	吉田 博 (新)

理 事 長	副理事長兼事務局長
佐藤 匡仁	吉田 博 (新)

理 事 長	副理事長兼事務局長
佐藤 匡仁	吉田 博 (新)

理 事 長	副理事長兼事務局長
佐藤 匡仁	吉田 博 (新)

理 事 長	副理事長兼事務局長
佐藤 匡仁	吉田 博 (新)

理 事 長	副理事長兼事務局長
佐藤 匡仁	吉田 博 (新)

# 被災地へ届け



～いわて子どもの森～  
「いわて子ども遊び隊の活動について」

いわて子どもの森では、岩手県社会福祉協議会児童館部会主催事業「いわて子ども遊び隊」により、関係団体の協力のもと、東日本大震災で被災した沿岸部の避難所や児童館を訪問し、遊びを通じて子どもたちを励ます活動を実施してきました。また、おもちゃの寄付を募集する事業「東日本大震災復興支援『遊べるもの募集!!』」により全

「ステキなバッグの完成です」

国から届いたおもちゃや文具を、被災した子どもたちに配布する活動を行っています。

これまで、陸前高田、宮古、釜石の各市内を回るとともに、被災児童の実態調査も行っています。元気そうに遊んでいる子どもたちですが、家族や自宅を失い、不自由な生活を送っており、心身に大きな影響を受けている様子が感じられます。

（主事 吉田 豊）

釜石市内の児童館にて  
「みんな、ピースの飾りつけに夢中♪」

（吉田 豊）

NEW  
**「はとホーム」開所しました。**

平成23年4月、宮古市にある共同生活事業所「ちふな」の5番目のケアホームとして開所した「はとホーム」。名称は、平和への願いを込めて、利用者の皆さんとの全員一致で決定しました。現在、50代から70代までの男性4人で共同生活を送っています。様々な疾患を抱えている方もいらっしゃいます。

利用者の皆さん一人ひとりの個性を尊重しながら、仕事や日々の活動を頑張っています。

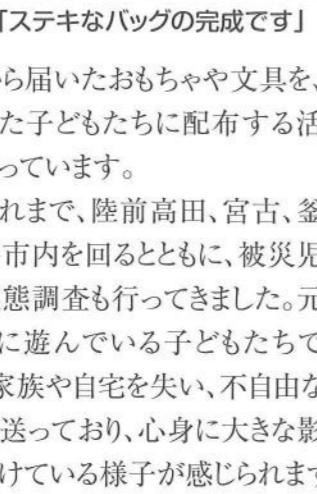
が、健康に気をつけながら、仕事や日々の活動を頑張っています。

（非常勤生活支援員 木村 慶子）

（副園長 千葉 瑞恵）

（開所式の様子）

（今日のおはなしは…？）



（吉田 豊）

## 施設全体を見るという 責任の重さ（山下）

藤原 4月から施設長に就任していかがですか。部下として働いていた頃との違い、補佐職のときと違った見方があるのではないかでしょうか。

女ヶ沢 責任をとても感じるようになりましたね。副園長という中間的立場で発言したり業務に取り組んでいたのが、施設長になった途端に最終判断を求められます。間違いなく判断できているかなど、考えますね。

仁昌寺 施設の環境整備にも、以前より気を配るようになりましたね。あと、正規職員と非常勤職員の割合が逆転しているなかで、全職員にしっかり仕事をしてもらえるよう考えていかなければ、と。

山下 施設全体を見るという責任の重さですよね。以前とは比較にならないほど、非常勤職員の割合が増えている中、福祉関係の仕事の経験のない方への研修の必要性を感じますね。

佐々木 回覧される書類に目を通す時に、「最後だな」と。補佐として勤めていた頃も、もちろんサボっていた訳ではありませんが、やはり、最後に印鑑をつくことの重さや責任が大きいですね。

藤田 自分自身を振り返つてみると、これまで好き勝手に物申してきたと思っていました。ところが今は、自分の発言を職員が聞いている。発言に責任をもたなく

てはいけないと、思うようになりました。

## 職員をうまくまとめる 風通しの良い職場に（女ヶ沢）

藤原 ブラック、施設長とは？ 施設長とし

てこうありたい、というところも併せてお聞かせください。

女ヶ沢 利用者に良質のサービスを届けるためにも、職員集団がしっかりとしていなければなりません。施設長として職員をうまくまとめ、風通しの良い職場にするため、私から挨拶するよう心掛けています。

仁昌寺 障がいを抱えた高齢の利用者

女ヶ沢 主幹

仁昌寺 施設長

女ヶ沢 やまゆり主幹兼施設長  
仁昌寺 夫明男 副理事長  
山 下田泰晃 かたくり施設長  
藤 佐々木 つづじ施設長  
原 健一 さくら施設長

～2011年5月27日金開催～

新任の感想や想いを語っていただきました。

が多く在籍しているので、皆さんに長生きしていただきたいという想いがあります。それと、職員が同じ目的で、同じ方向に向かって進んで行くためには、チームワークが大切です。係長を通じて連携を図っていきたいですね。

山下 利用者の生活や権利を守るという役割が大きいと思いますし、今年度の目標である施設の重点項目は、自分の言葉で職員に伝えています。

佐々木 施設長はリーダーシップを發揮するため 目標設定を（佐々木）

佐々木 施設長はリーダーシップを發揮

藤原 主幹

佐々木 施設長

藤原 副理事長



で、施設の特色が何であるかを考え、意見や思いを出す風土づくりを行い、特色を出していきたいです。つづじでは職員会議で、約束を守ることを職員にお願いしました。具体的には、挨拶など社会人と組んでいます。

藤田 高いスキルを持った職員が多いの

で、施設の特色が何であるかを考え、意見や思いを出す風土づくりを行っていきます。

山下 役職があるから知っているわけでもないですし、勤め始めた新鮮な気持ちだから分かることもありますよね。

藤原 施設長が目標を熱く語ったり、話を聞くのは良いことです。どんな小さなことでも、お金がないから即「ダメ」ではないはず。提案の量が質に転化する

藤田 職員から、いろいろ意見を出せと言ひながら、その意見を潰してしまっては意味がないと言われたことがあります。意見を出させたからには、ひとつでも実現しなければならないと思うようになりました。

山下 役職があるから、いろいろ意見を出せと言ひながら、その意見を潰してしまっては意味がないと言われたことがあります。意見を出させたからには、ひとつでも実現しなければならないと思うようになりました。

藤田 職員から、いろいろ意見を出せと言ひながら、その意見を潰してしまっては意味がないと言われたことがあります。意見を出させたからには、ひとつでも実現しなければならないと思うようになりました。

## どんな環境にも応じられる 職員の育成を（仁昌寺）

藤原 経営管理者としての立場ではいかがでしょうか。

藤田 経営改善委員会が開催されていますが、年齢の若い委員が少ない状況にあります。平成28年度に県からの補助金がなくなった時に、事業団の中心となる職員はどう捉えているのか、どこで意見を見聴くのかが重要になってきます。

我々の年代は、若い職員への橋渡しの役として、思いを伝えていかなければなりません。

佐々木 事業団は県と比較すれば歴史が浅く、定年退職者が出てきたのも、先輩が退職し役職が移るという意識を持ち始めたのも、ごく最近です。ですから、若い職員はなおさら事業団の中枢としてどのように働くべきか、教わってきていないと思います。次世代を育てる立場の我々が、若い職員にいくらかでも備えてもらえるよう、頑張っていかなければなりません。

山下 専門性を持つた職員を育てる必要があると思いますし、スキルアップを図る必要があります。

仁昌寺 この人でなければダメというのではなく、同じレベルで誰でも仕事ができるよう、コツをつかんでもらう必要があります。突然の人事異動で異なる施設に異動しても、その場の環境に応じられ

る必要があります。

## その先を示すことが 今を担っている人たちの責任（藤原）

藤原 28年度に注目が集まりますが、努力の先にどういう未来があるかを考えその先を示すことが、今を担っている人たちの責任もありますよね。

藤原 知的障がい者は特に不平等な環境に置かれることが多いのが現状です。いろいろなことを考えながら、お客様の動



## 職員が明日仕事を頑張れる 雰囲気作りを（藤田）

藤原 最後になりますが、新施設長としての抱負をお願いします。

女ヶ沢 やまゆりは中山の園のグループ内でも障がいが一番重い施設ですので、やはり「安心・安全な暮らし」を目指しています。意見を出させたからには、ひとつでも実現しなければならないと思うようになりました。

仁昌寺 相手はお客様であり、サービス

山下 利用者のニーズに的確に対応し、かたくりの生活が楽しいと感じられるよう努めたいと思います。

佐々木 生活の質の保障、利用者が希望する生活の実現に向けて頑張ります。もちろん、さくら単独ではなく、中山の園グループとして、皆で意見を出し合って、考えていくたいと思います。

藤田 利用者、職員共に健康で楽しく暮らせる場を大切にし、職員が明日の仕事を頑張れる雰囲気を作っていくたいと思います。

藤原 「完璧でなくとも、常によりよく」を目指して挑戦し続け、日々できることをやり、事業団として生き生きとした強い組織作りを行っていきましょう。

5 みんなの広場 第109号

# 平成22年度岩手県社会福祉事業団

## 決算報告

法人名 岩手県社会福祉事業団

施設名

### 資金収支計算書

(自) 平成22年4月1日 (至) 平成23年3月31日

(単位:円)

		助定科目		予算	決算	差異
就労支援事業取扱による収支	就労支援事業取扱による支	就労支援事業取扱	就労支援事業取扱	43,665,000	42,990,248	-674,752
	就労支援事業取扱	就労支援事業取扱	就労支援事業取扱	43,665,000	42,990,248	-674,752
	就労支援事業取扱	就労支援事業取扱	就労支援事業取扱	45,086,000	43,439,293	1,646,707
	就労支援事業取扱	就労支援事業取扱	就労支援事業取扱	45,086,000	43,439,293	1,646,707
	就労支援事業活動資金取扱差額(3)=(1)-(2)			-1,421,000	-449,045	971,955
	会計単位間繰入金取扱			142,000	11,561	-130,439
	経理区分間繰入金取扱			106,163,000	79,057,063	-27,105,937
	措置費収入			774,321,000	773,117,116	-120,384
	私的契約利用料収入			4,822,000	4,818,150	-3,850
	介護保険収入			2,885,000	2,866,930	-18,070
	自立支援費収入			2,414,811,000	2,427,834,776	13,023,776
	補助事業収入			115,193,000	116,331,710	1,138,710
	利用料収入			60,000	65,000	5,000
	その他の利用料収入			16,256,000	16,515,817	259,817
	受託事業収入			434,048,000	433,481,524	-566,476
	負担金取扱			7,750,000	7,729,904	-20,096
	経常経費補助金取扱			594,042,000	527,084,800	-66,957,200
	寄附金取扱			1,869,000	2,373,561	504,561
	報酬取扱			388,16,000	39,485,540	669,340
	受取利息配当金取扱			682,000	1,009,139	327,139
	福祉事業取扱(4)			4,511,860,000	4,431,782,391	-80,077,609
	会計単位間繰入金取扱			142,000	11,561	130,439
	経理区分間繰入金取扱			106,163,000	79,057,063	-27,105,937
	人件費支出			2,875,363,000	2,858,106,100	-17,256,900
	事務費支出			670,949,000	636,834,251	34,114,749
	福祉事業取扱(5)			652,577,000	623,680,383	28,896,617
	福祉事業活動資金取扱差額(6)=(4)-(5)			4,305,194,000	4,197,689,358	107,504,642
	施設整備等補助金取扱			206,666,000	234,093,033	27,427,033
	施設整備等取扱			11,005,000	10,987,300	-17,700
	施設整備等補助金取扱			11,005,000	10,987,300	-17,700
	固定資産取得支			56,809,000	54,933,587	1,875,413
	施設整備等支			56,809,000	54,933,587	1,875,413
	施設整備等資金取扱差額(9)=(7)-(8)			-45,804,000	-43,946,287	1,857,713
	積立預金取扱			8,350,000	5,953,000	-2,397,000
	その他の取			37,230,000	39,812,686	2,582,686
	財務取扱(10)			45,580,000	45,765,686	185,686
	積立預金積立支			101,184,000	82,508,000	18,676,000
	その他の支			41,640,000	41,296,190	343,810
	財務支			142,824,000	123,804,190	19,019,810
	財務活動資金取支差額(12)=(10)-(11)			-97,244,000	-78,038,504	19,205,496
	予備費(13)			0	0	0
	当期資金取支差額合計(14)=(3)+(6)+(9)+(12)-(13)			62,197,000	111,659,197	49,462,197
	前期末支払資金残高(15)			702,437,000	702,437,554	554
	当期末支払資金残高(16)+⑯			764,634,000	814,096,751	49,462,751

### 損益計算書

(自) 平成22年4月1日 (至) 平成23年3月31日

(単位:円)

科 目		金額	
I 医業収益			
1 入院診療収益		268,361,222	
2 外来診療収益		124,719,713	
3 保健予防活動収益		4,274,538	
4 その他の医業収益		7,026,253	
合計		404,381,726	
II 保険等差定減		0	
III 医業費用			
(1)医薬品費		37,686,976	
(2)診療材料費		14,914,245	
(3)医療消耗器具備品費		1,465,975	
(4)給食用材料費		10,291,509	
2 納付費			
(1)給付		245,814,273	
(2)貢与		35,538,454	
(3)退職給付費用		10,069,581	
(4)法定福利費		61,114,630	
3 委託費			
(1)検査委託費		1,081,085	
(2)給食委託費		11,587,325	
(3)寝具委託費		2,069,550	
(4)保守委託費		3,832,080	
(5)その他委託費		46,167,858	
4 設備関係費			
(1)減価償却費		10,036,432	
(2)器機備品料		4,743,003	
(3)地代家賃		456,770	
(4)修繕費		11,165,893	
(5)器機保守料		2,936,010	
(6)車両関係費		1,476,572	
5 研究研修費			
(1)研究費		586,400	
(2)研修費		4,131,281	
6 経費			
(1)福利厚生費		1,168,942	
(2)旅費交通費		2,145,381	
(3)職員被服費		1,292,768	
(4)通信費		1,401,039	
(5)広告宣伝費		169,050	
(6)消耗品費		12,489,797	
(7)消耗器具備品費		5,813,421	
(8)会議費		5,590	
(9)水道光熱費		49,196,659	
(10)保険料		1,073,610	
(11)交際費		57,000	
(12)諸会費		382,500	
(13)租税公課		495,000	
(14)雜費		3,478,417	
7 控除対象外消費税等負担額		0	
医業損失			
I 医業外収益			
1 患者外給食収益		31,490	
2 自立支援支		77,504,810	
3 受託事業収益		235,180,239	
4 その他の医業外収益		2,135,128	
IV 医業外費用			
1 患者外給食用材料費		12,665	
経常利益			
V 臨時収益			
税引前当期純利益		0	
法人税、住民税及び事業税		0	
当期純利益		122,885,622	
前期純利益		226,980,691	
当期純利益		349,866,313	

### 貸借対照表

法人名 岩手県社会福祉事業団

第5号様式

(単位:円)

事業グループ【全体合計(療育センター含む)】		
平成23年3月31日現在		
資産の部	負債の部	
科 目	当年度末	前年度末
流动資産	1,559,123,426	1,326,157,318
現金	713,970	603,460
当座預金	517,037,377	675,448,830
小口現金	751,561	507,811
定期預金	300,000,000	1,000
普通預金	96,277,340	102,277,789
商品・製品	256,140	271,160
原材料	2,066,417	2,056,692
医薬品等	1,202,319	2,045,984
未収金	557,321,373	481,070,192
医業未収金	79,819,554	58,435,758
立替金	15,855	84,336
仮払金	3,	

# 新採用職員紹介

よろしくお願ひします

療育センター  
看護部長おい かわ さち よ  
**及川 幸代**

&lt;平成23年4月1日付採用&gt;

療育センター  
薬剤師お の でら み き  
**小野寺 美樹**  
<平成22年7月1日付採用>療育センター  
作業療法士だ さい のぶ ひろ  
**太細 伸広**  
<平成22年9月1日付採用>たばしね学園  
保育士はし もと よう こ  
**橋本 陽子**  
<平成23年4月1日付採用>たばしね学園  
児童指導員さ さ き な お み ち  
**佐々木 直理**  
<平成23年4月1日付採用>松山荘  
生活指導員さ る が さ わ や す こ  
**猿ヶ澤 康子**  
<平成23年4月1日付採用>松風園  
職業指導員(兼生活支援員)お の でら のぞみ  
**小野寺 希**  
<平成23年4月1日付採用>りんどう  
生活支援員なる お ふ み  
**鳴尾 芙美**  
<平成23年4月1日付採用>つづじ  
生活支援員たか は し ゆ う き  
**高橋 優希**  
<平成23年4月1日付採用>こぶし  
生活支援員く ど う こ う へい  
**工藤 幸平**  
<平成23年4月1日付採用>みたけの園  
生活支援員なか さ と あ や か  
**中里 綾花**  
<平成23年4月1日付採用>やさわの園  
生活支援員さ わ ぐ ち ひ で あ き  
**澤口 英明**  
<平成23年4月1日付採用>療育センター  
主事ほん みょう ひろ たか  
**本明 裕孝**  
<平成23年4月1日付採用>療育センター  
保育士は ら だ と も こ  
**原田 智子**  
<平成23年4月1日付採用>療育センター  
主査ひ ぐ ち こ う き  
**樋口 恒輝**  
<平成23年4月1日付採用>療育センター  
看護師す が わ ら け い こ  
**菅原 佳子**  
<平成23年4月1日付採用>療育センター  
看護師や ま し た ひ ろ こ  
**山下 浩子**  
<平成23年4月1日付採用>療育センター  
看護師さ さ き よ う こ  
**佐々木 陽子**  
<平成23年4月1日付採用>療育センター  
看護師た か は し み さ こ  
**高橋 美沙子**  
<平成23年4月1日付採用>療育センター  
相談支援員さ と う し ほ  
**佐藤 志保**  
<平成23年4月1日付採用>療育センター  
相談支援員さ の や す は  
**佐野 泰葉**  
<平成23年4月1日付採用>視聴覚障がい者  
情報センター  
相談支援員た か は し け ん い ち  
**高橋 健一**  
<平成23年4月1日付採用>療育センター  
相談支援員兼理学療法士ふ じ わ ら と も ひ で  
**藤原 智秀**  
<平成23年5月1日付採用>療育センター  
相談支援員兼理学療法士ふ く だ り え  
**福田 梨恵**  
<平成23年5月1日付採用>療育センター  
相談支援員兼理学療法士ほ さ か あ や か  
**保坂 紋加**  
<平成23年5月1日付採用>